

## 三床山山行報告

【山行日】2021年 9月 30(木) 晴れ一時雨

【集 合】岩舟支所P AM 8:00

【費 用】マイカー1台 : 400円

【メンバー】CL:鈴木、SL石澤

大塚、嶋田、清水、廣瀬、

【コースタイム】岩舟支所P8:00＝鹿嶋神社P

8:40/8:50～三床山 9:50/10:00～小三床山 10:20

～つつじ山 10:50～桜山 11:15/11:25～一床山

12:25/13:10～西入の頭 13:30～鹿島神社P

14:00/14:10＝道の駅「たぬま」14:30/14:45＝

岩舟支所P15:15



今月入会した大塚さんのトレーニング山行として、三床山から桜山の周回コースを計画した。緊急事態宣言で中々山行に参加できなかった方達が参加し、6名での賑やかな山行となった。



岩舟支所を8時に出発し道の駅「たぬま」でトイレを済ませ、鹿嶋神社先の駐車スペースに車を止める。ストレッチを行ってから出発し、まずは鹿嶋神社で安全登山を祈願して神社左側の林道を進む。沢コース分岐を見送り林道を進むが、大塚さんとお話ししながら歩いて出尾根コース登山口を見過ごした。あわてて戻り、無事出尾根コース登山口から登山道に入り事なきを得る。しばらく展望の無い樹林の中を登ると、やがて右側が開けゴルフ場が見えてくる。小ピークを過ぎ

て一旦鞍部まで下り、ここから急登が始まる。滑りやすい登山道を一步一步ゆっくり登り、岩交じりの急坂を登ると二床山への分岐に出る。直進して尾根上を緩やかに進むと、三角点と石祠が置かれた三床山山頂に着く。小休止しナシや菓子を食べて、山頂からの展望を楽しむ。記念写真を撮ったら二床山分岐まで戻り、分岐を右に下って二床山方面に向かう。滑りやすいザレた急坂を下るので、ロープや木の枝を頼りに慎重に下る。下り切った鞍部が沢コースとの合流点で、直進してアップダウンを繰り返し登って行く。

310mピークが金原山への分岐で、右に進んで金原山方面に向かう。すぐに小三床山山頂に着き、下ると栗谷坂峠で石仏が置かれている。



登り返すと烏ヶ岳山頂に出て、ここからは自然林の気持が良い稜線が続く。緩やかにアップダウンを繰り返しながら進み、次の大きなピークがつつじ山である。



小休止後、左に折れて桜山に向かって下ると雨が落ちてきた。天気予報には雨マークが無かったが、前方の空は暗く灰色になって来た。戻ったほうが近いので、「戻りますか？」と聞くと誰も返事が



無い。皆さん登りたそうな顔で見つめるので、レインウェアの上衣を着て予定通り進むことにする。桜山まで登ると雨が上がり、レインウェアを脱いで大休止する。プリンを食べてエネルギーを補給し、疲れた体を休める。山頂から北に向かうと金原山方面に向かうが、我々は西に延びる尾根を下り一床山へ向かう。空が明るくなって雨の心配が無くなり、気持ちよく尾根を下ってゆく。尾根の途中で分岐があり、分岐を左に急坂を下って行く。滑りやすい急坂をロープや木に掴まりながら下り、下り切

ると小沢を越えて林道へ出る。林道を右にしばらく進むと分岐になり、案内に従って左に進むと一床山の取り付に出る。ここからは標高差170mを一気に登る急登で、疲れた足にはとてもキツイ。

キツイ登りに大塚さんも疲れたようで、ゆっくりマイペースで登ってくる。ようやく山頂に着き、キツイ登りから解放され笑顔が弾ける。360度の展望を楽しみ、記念写真を撮ったらランチタイムとする。野菜たっぷりの焼きそばを作り、皆さんが持ち寄った煮タマゴや漬物、トマト等が出て美味しくいただいた。お茶を飲んだら後片付けし、山頂を後に鹿嶋神社へ向かう。今回は西入の頭経由で下ることにし、山頂から南西の尾根を下って行く。展望が良い尾根を下ると西入の頭で、こ



こから南に延びる尾根を下って行く。下り切った平坦な場所で最後の休憩を取り、ナシを食べて疲れた体を休める。沢を渡った林の中に栗が落ちていて、しばし栗拾いを楽しんだ。途中にも何ヶ所か栗が落ちていて、結構な数が集まった。平坦な笹の道に出ると、まもなくソーラが並ぶ間を通り駐車スペースに着く。靴を履き替えたら帰路につき、道の駅「たぬま」で買い物し無事岩舟支所に帰着した。